

平成27年度岩手県森林・林業政策連絡協議会の開催について

さる6月3日午後2時より、岩手県農林水産部、国立研究開発法人森林総合研究所東北支所、国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センター東北育種場、国立研究開発法人森林総合研究所森林整備センター東北北海道整備局盛岡水源林事務所と東北森林管理局・岩手県内森林管理（支）署の5機関で、平成27年度の岩手県森林・林業政策連絡協議会をサンセール盛岡で開催しました。

当会議は、国有林と民有林の施策や林業技術の向上について連携・協調を図ることを目的として開催しております。



各機関の平成27年度の事業取組としては、

○岩手県

- ・放射性物質の影響を受けた原木しいたけの山地再生
- ・地域の木材を活用する加工体制等の再生
- ・林業の未来を拓く経営体の育成
- ・消費者から信頼される「食料・木材供給基地」の確立
- ・農林水産物の高付加価値化と販路の拡大
- ・「いわて」の魅力あふれる農山漁村の確率
- ・環境保全対策と環境ビジネスの推進

○森林総合研究所東北支所

- ・東北地方に適した低コスト再造林技術の開発
- ・海岸林復興に向けた調査と技術開発
- ・マツ食い虫の拡大阻止に向けた防除体制の構築

○林木育種センター東北育種場

- ・スギ等のエリートツリー開発、特定母樹の確定及びその普及
- ・マツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発
- ・カラマツの育種とその推進に必要な技術の開発
- ・遺伝資源の収集及び林木遺伝子銀行110番の取組

○盛岡水源林整備事務所

- ・事業の実施手法の高度化
- ・森林・林業再生への貢献
- ・民国・民民連携の推進
- ・コンテナ苗使用による低コスト造林への取組
- ・東日本大震災に関する復旧・復興に際しての貢献

○東北森林管理局・署

- ・木材の安定供給に向けた取組
- ・再造林の低コスト化に向けた取組
- ・ニホンジカによる森林被害対策
- ・海岸防災林造成
- ・低コスト間伐
- ・民有林と連携した森林整備
- ・治山対策の推進



（飛山東北森林管理局長挨拶）



（佐藤岩手県林務担当技監挨拶）

等に関する取り組みが紹介されました。

その後、岩手県内で被害が拡大しているマツ枯、ナラ枯、県内の林業労働力対策、震災で被害を受けた海岸林の造成等について意見交換が行われ、各機関が連携して取り組んでいくことの重要性について認識を新たにして終了しました。

